

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。

学校名	公益社団法人和歌山県病院協会立和歌山看護専門学校
設置者名	公益社団法人和歌山県病院協会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門	看護学科	夜・通信	40単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.wakayama-nc.net/index.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映する組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	公益社団法人和歌山県病院協会立和歌山看護専門学校
設置者名	公益社団法人和歌山県病院協会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	運営委員会
役割	本校の教育方針及び教育計画の策定、財政基盤の整備等重要な事項について審議を行う。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
現職 某病院 理事長	2018年6月～2020年5月	和歌山県病院協会理事
現職 某病院 事務局長	2018年6月～2020年5月	和歌山県病院協会理事
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	公益社団法人和歌山県病院協会立和歌山看護専門学校
設置者名	公益社団法人和歌山県病院協会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】 シラバスの内容は、科目名、授業時間数、担当教員名、授業の方法（講義、演習、実習の別）、授業の内容（授業科目の概要）、授業の計画（回数やスケジュール）、到達目標、成績評価の方法・基準を記載し、学内統一様式にて作成している。</p> <p>【時期について】 現在、授業シラバスの作成は、10月～3月の間に、各授業の担当講師及び教員が作成し教務長が確定をする。作成したシラバスは、4月に学生に配布している。</p>	
授業計画の公表方法	事務室に備付で、申請があれば閲覧・公表
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習成果の評価（講義）については、あらかじめシラバス等で提示している成績評価の基準や方法の通り、学科試験または、実技試験、小テストやレポート等の課題遂行状況により算出している。各科目は100点満点とし、優（80点以上）、良（79点～70点）可（69点～60点）不可（59点以下）とし、60点以上が単位認定となる。不可は再試験を実施し、60点以上の場合、単位取得となるが60点未満の場合、単位未取得となり、単位認定試験の対象となる。臨地実習については、教員及び実習指導者が評価表により評価し、教務会議にはかり、判定している。進級については、3月に進級判定会議を行い、判定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>成績の評価方法は、授業科目の規定時間の3分の2以上の出席をしたものは評価を受けることができる。</p> <p>すべての科目の成績を100点満点で点数化</p> <p>優(80点以上)、良(79点～70点)可(69点～60点)不可(59点以下)</p> <p>優・良・可の評価で合格とし単位の取得を認定する</p> <p>成績の公表については、各科目の点数の合計点から平均点を一覧表で算出し順位づけをしている。</p> <p>また1年次の取得すべき40単位の科目の平均得点を、90点以上、80点以上、70点以上、60点以上で分類、成績の分布状況を表にしている。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	事務室に備付で、申請があれば閲覧・公表
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<p>卒業の認定は、本校のカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修得した学生について卒業判定会議の結果、学校長がこれを行なう。</p> <p>卒業の認定をした者に対して卒業証書及び専門士(医療専門課程)の称号を授与する。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	事務室に備付で、申請があれば閲覧・公表

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。

学校名	公益社団法人和歌山県病院協会立和歌山看護専門学校
設置者名	公益社団法人和歌山県病院協会

1. 財務諸表等（2020年4月より下記により公表予定）

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.wakayama-nc.net/
収支計算書又は損益計算書	https://www.wakayama-nc.net/
財産目録	https://www.wakayama-nc.net/
事業報告書	https://www.wakayama-nc.net/
監事による監査報告（書）	https://www.wakayama-nc.net/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	看護	医療			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3000/99 単位時間/単位	1920 時間	時間	1035 時間	時間	45 時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人		142人	人	11人	人	人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年間授業計画は、1年次40単位1110時間、2年次39単位1185時間、3年次20単位705時間である。学習進度は基礎分野から専門分野へと積み上げを基本とする斬新的デザインで編成し、学内での看護の基礎的な知識・理論、技術を学び臨地実習での実践をとおして知識・看護技術の習得を目指している。基礎看護実習から領域別の成人看護・老年看護・小児看護・母性看護・精神看護・在宅看護の各論実習へと段階を経て、管理的な視点から学習する統合実習を展開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価（講義）については、あらかじめシラバス等で提示している成績評価の基準や方法の通り、学科試験または、実技試験、小テストやレポート等の課題遂行状況により算出している。各科目は100点満点とし、優（80点以上）、良（79点～70点）可（69点～60点）不可（59点以下）とし、60点以上が単位認定となる。不可は再試験を実施し、60点以上の場合、単位取得となるが60点未満の場合、単位未取得となり、単位認定試験の対象となる。臨地実習については、教員及び実習指導者が評価表により評価し、教務会議にはかり、判定している。進級については、3月に進級判定会議を行い、判定している。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>卒業の認定は、本校のカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修得した学生について卒業判定会議の結果、学校長がこれを行なう。</p> <p>卒業の認定をした者に対して卒業証書及び専門士（医療専門課程）の称号を授与する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>年度初めの個人面談、1学年については、戴帽式前の個人面談（10月）の他に個別面談を適宜実施。</p> <p>週1回の教員会議で各クラスの学生状況を確認。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 (100%)	1人 (2.7%)	35人 (94.5%)	1人 (2.7%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 病院協会の奨学金制度を利用している学生については、奨学金を利用している病院に就職。その他の学生については、個々人の希望を担任が確認し、個別面談を行いながら就職サポートを行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師免許			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
152人	15人	9.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学力不足等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学業成績や学習態度、出欠状況は常に把握し、不良者に対しては個別面談をする。また、学校生活や人間関係、進路等に対して悩みを抱える学生のために「相談室」を設置し、相談できる体制を作っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	施設設備整備費	実験実習料 (年間)	合計
看護	400,000 円	360,000 円	500,000 円	180,000 円	1,440,000 円
	円	円	円	円	円
修学支援 (任意記載事項)					

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.wakayama-nc.net/index.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>①主な評価項目 (1)教育理念・目標 (2)学校運営 (3)教育活動 (4)学修成果 (5)学生支援 (6)教育環境 (7)学生募集と受入れ (8)財務 (9)法令等の遵守 (10)社会貢献・地域貢献</p> <p>②評価委員の構成 委員の定数…6名、委員の選出区分…職能団体委員、卒業生、</p> <p>③評価結果の活用方法 ・文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って、看護分野について高い見識を有する6名の評価委員に事前に自己評価報告書及び学校評価に関する資料を配付した上で指導や意見を伺う。委員からの指導や意見は校長、副校長、事務長が聞き、内容を報告書として作成。 ・報告書をもとに、全教職員で共通理解を図り教職員会議等で意見交換を行い改善に向けて取り組む。 ・学校の各教職員が教育活動を常に見直し学校運営の状況を把握する。 ・学校と地域や保護者等をつないで相互の連携協力を深める。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
2020年度から学校関係者評価を確実に実施しその結果を公表するために委員の選任を行う		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に実施・公表する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.wakayama-nc.net/index.html>